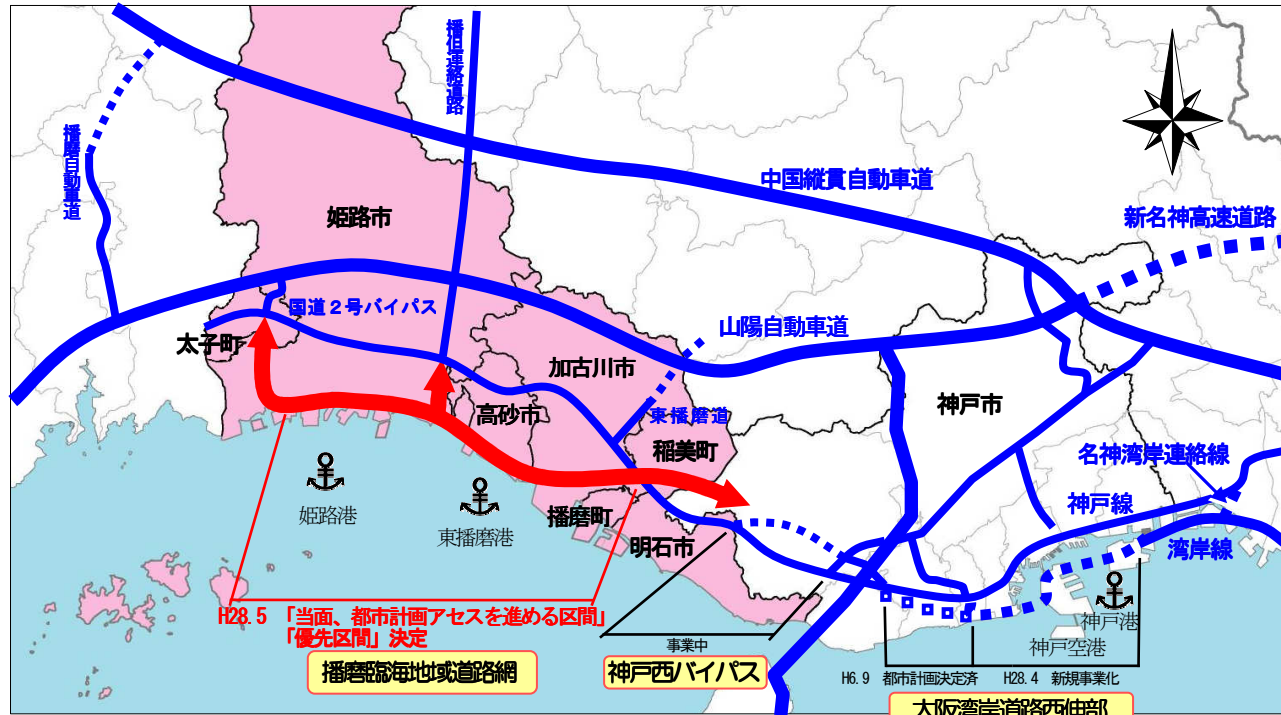


播磨臨海地域道路 位置図



要望書

「はりまの成長なくして日本の成長なし」
 播磨臨海地域道路の早期実現を！

整備促進大会を開催

平成28年2月2日、「播磨臨海地域道路整備促進大会」を開催し、**国会議員連盟や兵庫県知事、地元企業、関係市町など関係者約130名が参加。**「播磨臨海地域道路 早期実現！」のハチマキを締め、国際競争力の強化や地方創生など多くの効果を発揮する本道路網の必要性をアピールしました。



地域企業から期待の声

平成28年5月23日、地域企業と行政関係者との意見交換会を開催しました。参加企業からは「**物流機能の向上は新たな投資につながる**」など多くの期待の声が寄せられました。



渋滞が慢性化する国道2号バイパス



播磨臨海地域の高度ものづくり拠点



ナノの世界照らす夢の光！
 播磨科学公園都市 SACLASPRING-8



国内城郭の最多入場者 286万人を記録
 世界文化遺産・国宝 姫路城

播磨臨海地域道路網協議会
 播磨臨海地域道路網建設促進協議会

播磨臨海地域道路網の早期実現を！

播磨臨海地域は、日本を代表する多様な企業の製造拠点が集積し、多くのトップシェア製品を生み出している世界有数のものづくり拠点である。平成26年の製造品出荷額等は5兆9千億円を超え、さらに、ここ7年間の企業の投資総額は約2兆円にもなり、他の大都市をはるかに凌ぐ規模である。

一方で、臨海部における物流の要である国道2号バイパスは、日交通量が約10万台から12万台で交通容量の約2倍となっている。このため、慢性的な渋滞を引き起こし、物流機能の低下を招いている。

こうした渋滞等の課題を解消する播磨臨海地域道路網は、人流・物流を抜本的に改善する「生産性革命」を実現する道路である。播磨の高度なものづくり拠点と神戸の国際物流拠点の緊密な連携などにより、さらなる民間投資を支援し、新たな雇用の創出や地域の稼ぐ力を強化するなど、ストック効果を最大限に発揮させ、将来にわたり当地域の自立・持続的発展に寄与するものである。

「はりまの成長なくして日本の成長なし」、日本の新たな「創造と成長」は、ここ播磨から始まるといっても過言ではなく、播磨の地域創生こそが日本の経済成長を力強く牽引するものと確信している。

そのためにも本道路網の早期実現が不可欠であり、次の事項について強く要望する。

＜要望＞

- 一 計画段階評価を早期に完了すること
- 一 早期完成に向け播但連絡道路接続部での有料道路事業導入を検討すること
- 一 道路関係予算の総額を確保すること

平成28年7月

播磨臨海地域道路網協議会

会長	姫路市長	石見利勝
副会長	加古川市長	岡田康裕
監事	高砂市長	登幸人
監事	太子町長	北川嘉明
理事	明石市長	泉房穂
理事	稲美町長	古谷博
理事	播磨町長	清水ひろ子
参与	たつの市長	栗原一
神戸市長		久元喜造

播磨臨海地域道路網建設促進協議会

会長	姫路商工会議所会頭	三宅知行
副会長	明石商工会議所会頭	平岡勝功
監事	加古川商工会議所会頭	長谷川吉弘
委員	高砂商工会議所会頭	渡辺健一
委員	稲美町商工会会長	廣田政文
委員	播磨町商工会会長	森田孝昭
委員	太子町商工会会長	高井國昭